

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院とロサノブレサ大学病院の救急センターに搬送された自殺未遂者の1年間の後方視的研究
スペイン人と日本人の臨床的因子の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年1月1日から2022年12月14日に昭和大学病院またはロサノブレサ大学病院の救急センターに自殺未遂で救急搬送された患者さん。

2. 研究目的

昭和大学病院とスペインのロサノブレサ大学病院における1年間の自殺未遂にて救急搬送された患者さんの、年齢、性別、自殺方法、動機、その後の転機を調べ、施設間で違いや特徴があるかどうかを比較検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテに記載されている患者さんの性別、年齢、診断名、入院日、転入日、入院期間、転帰、自殺手段、自殺動機を調査対象とします。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、国際eパケットを用いて、共同研究機関である、ロサノブレサ大学病院に郵送します。

なお、上記共同研究機関ロサノブレサ大学病院は、スペインに存在し、スペインは日本と同等の水準にあると認められる個人情報保護制度を有しています。

6 . 研究組織

研究代表者	昭和大学病院	土肥 謙二
研究責任者	昭和大学病院	土肥 謙二
共同研究機関	ロサノブレサ大学病院	Beatriz Amores Araguas

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学救命救急科 氏名： 青木 献広
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8019